

ブラックロック 天然資源株ファンド

第64期末(2023年11月20日)	
基準価額	10,847円
純資産総額	7,126百万円
第63期～第64期	
騰落率	6.8%
分配金合計	0円

(注) 騰落率は収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

追加型投信／海外／株式 交付運用報告書 第32作成期

第63期(2023年8月21日決算)

第64期(2023年11月20日決算)

作成対象期間(2023年5月23日～2023年11月20日)

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「ブラックロック天然資源株ファンド」は、このたび、第32作成期の決算を行いました。

当ファンドは、「ブラックロック・グローバル・ファンズ ワールド・エネルギー・ファンド クラスX投資証券(ルクセンブルグ籍会社型外国投資証券)」、「ブラックロック・グローバル・ファンズ ワールド・マイニング・ファンド クラスX投資証券(ルクセンブルグ籍会社型外国投資証券)」および「ブラックロック・グローバル・ファンズ ワールド・ゴールド・ファンド クラスX投資証券(ルクセンブルグ籍会社型外国投資証券)」(以下各々を「BGF ワールド・エネルギー・ファンド」、「BGF ワールド・マイニング・ファンド」および「BGF ワールド・ゴールド・ファンド」といいます。)への投資を通じて、信託財産の中長期的な成長を目標に運用を行います。当作成期につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過についてご報告いたします。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

ブラックロック・ジャパン株式会社

〒100-8217 東京都千代田区丸の内一丁目8番3号

丸の内トラストタワー本館

運用報告書に関するお問い合わせ先

電話番号:03-6703-4300

(受付時間 営業日の9:00～17:00)

ホームページアドレス

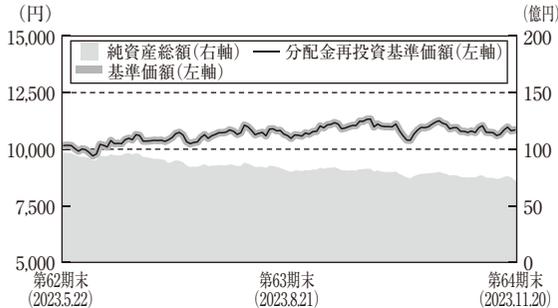
www.blackrock.com/jp/

●当ファンドは、投資信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。右記弊社ホームページの「ファンド・ETF情報」、「投資信託」から当ファンドのファンド名を選択することにより、当ファンドの「運用報告書(全体版)」を閲覧およびダウンロードすることができます。

●「運用報告書(全体版)」は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

◇運用経過

■当作成期中の基準価額等の推移について（第32作成期：2023年5月23日～2023年11月20日）



第 63 期首：10,159 円

第 64 期末：10,847 円（既払分配金 0 円）

騰落率：6.8%（分配金再投資ベース）

- * 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- * 分配金再投資基準価額は、前作成期末の基準価額に合わせて指数化しています。

■1万口当りの費用明細

項目	第63期～第64期 (2023.5.23～2023.11.20)		項目の概要
	金額	比率	
	円	%	
(a) 信託報酬	101	0.946	信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,689円です。
(投信会社)	(47)	(0.438)	投信会社分は、委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(53)	(0.492)	販売会社分は、交付運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(2)	(0.016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	-	-	売買委託手数料=期中の売買委託手数料/期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	-	-	有価証券取引税=期中の有価証券取引税/期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	4	0.036	その他費用=期中のその他費用/期中の平均受益権口数
(保管費用)	(0)	(0.003)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(印刷費用・監査費用等)	(3)	(0.032)	目論見書および運用報告書の作成・印刷費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用等の諸費用
(その他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	105	0.982	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当りのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■基準価額の主な変動要因

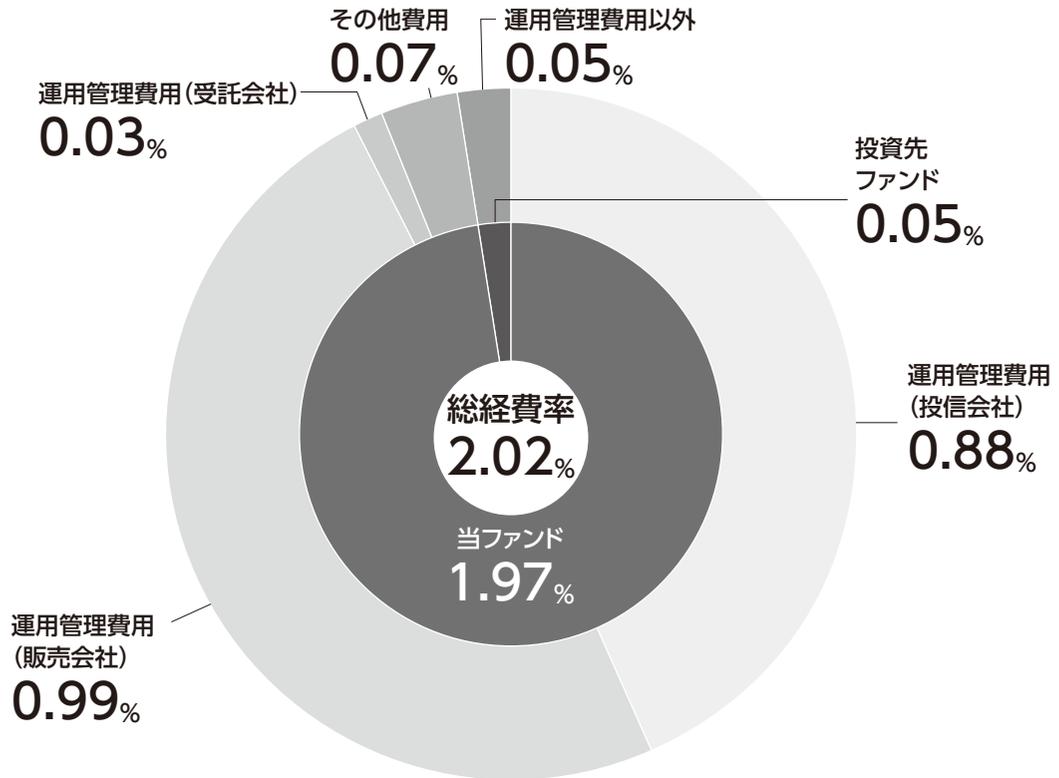
当作成期、当ファンドの基準価額は6.8%上昇しました。当ファンドの投資対象ファンドである「BGF ワールド・エネルギー・ファンド」が上昇した一方で、「BGF ワールド・マイニング・ファンド」、「BGF ワールド・ゴールド・ファンド」はそれぞれ下落しましたが、当ファンドの投資対象ファンドはいずれも米ドル建てであるため、当作成期為替市場において円安が進行したことから基準価額は上昇しました。

■主要投資対象ファンドの当期間中の騰落率

組入ファンド	騰落率
BGF ワールド・エネルギー・ファンド	8.7%
BGF ワールド・マイニング・ファンド	△6.3%
BGF ワールド・ゴールド・ファンド	△10.1%

(参考情報)

■総経費率



※当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は2.02%です。

総経費率(①+②+③)	2.02%
①当ファンドの費用の比率	1.97%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.00%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.05%

(注1)①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2)各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3)各比率は、年率換算した値です。

(注4)投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券です。

(注5)①の費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6)①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7)上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■最近5年間の基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、2018年11月20日の基準価額をもとに指数化したものです。
 * 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 * 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

	2018年11月20日 期初	2019年11月20日 決算日	2020年11月20日 決算日	2021年11月22日 決算日	2022年11月21日 決算日	2023年11月20日 決算日
基準価額(分配前) (円)	5,130	5,273	5,152	7,424	10,182	10,847
期間分配金合計(税込み) (円)	-	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	-	2.8	△ 2.3	44.1	37.1	6.5
純資産総額 (百万円)	5,620	4,220	3,714	4,263	11,291	7,126

* 当ファンドは、特定のベンチマークに連動する運用、あるいはそれを上回る運用を目指すものではありません。したがって当ファンドはベンチマークおよび参考指数を設定していません。

投資環境について

<エネルギー関連株市場>

当期(2023年5月23日から2023年11月20日)、エネルギー関連株式のパフォーマンスは、米国エネルギー情報局(EIA)発表の石油需要データとOPECによる生産目標削減の発表を受けエネルギー株のパフォーマンスは、MSCIオールカントリー・ワールド・トータル・リターン・インデックスを上回りました。米EIAの発表によれば、世界の石油需要引き続き回復が見られている一方、OPECは、8月末にサウジアラビアとロシアにおける生産削減の年内延長を発表したことから第4四半期においても石油供給の逼迫が続き、石油価格を底支えることが示唆されました。

<鉱山関連株市場>

当期、鉱業セクターは、MSCIオールカントリー・ワールド・トータル・リターン・インデックスを下回りました。中国の財政刺激策発表に対する新たな楽観的見方が広がり、2015年末に見られたものより具体的かつ的を絞ったものになるとの期待はあるものの、中国に対するセンチメントは引き続きネガティブなものとなっています。また、中国不動産市場を取り巻く環境が引き続き同国のマクロ経済データの弱含みに繋がっています。個別企業レベルでは、発表された第2、第3四半期の生産状況が予想を下回るものとなり、供給に纏わる問題が明らかになってきています。バッテリー素材の価格(特にリチウム価格)は、10月に弱含みました。汎用コモディティ価格は当期間上昇し、銅及び鉄鉱石(62%鉄含有)の価格はそれぞれ上昇しました。

<金鉱関連株市場>

MSCIオールカントリー・ワールド・インデックスに代表されるグローバル株式市場は当期間において、金鉱株のパフォーマンスを上回りました。金価格は、米ドルと実質金利の上昇が向かい風となり、第3四半期に軟調な展開となりましたが、ほぼ横ばいとなりました。ここ数ヶ月間、逃避先安全資産としての金の位置づけは、より高まっています。中央銀行の強い金需要、地政学リスクの上昇及び世界経済の成長が引き続き弱まっていることから、金価格の上昇圧力が高まっています。

ポートフォリオについて

当ファンドは、投資対象ファンドである、世界のエネルギー関連株を投資対象とする「BGF ワールド・エネルギー・ファンド」と世界の鉱山株を投資対象とする「BGF ワールド・マイニング・ファンド」をそれぞれ40%程度組入れ、世界の金鉱株を投資対象とする「BGF ワールド・ゴールド・ファンド」を20%程度組入れることで、期を通じて、信託財産の中長期的な成長を目標に運用を行いました。

投資先ファンドにおける運用経過は以下の通りです。

<BGF ワールド・エネルギー・ファンド>

当作成期におけるポートフォリオの主要なテーマはエネルギー企業の資産基盤が様々であることから、優良な石油生産企業へのバイアスなどが挙げられます。ポジションとして、長期的に石油・ガス価格が上昇する環境下で最も恩恵を受けると考えられる企業を保有しました。

(主なプラス要因)

- ・ 探査・開発サブセクターの銘柄選択がプラスに寄与しました
- ・ パイプライン輸送グループであるエンブリッジの非保有がプラスに寄与しました

(主なマイナス要因)

- ・ 精製サブセクターを組入低位がマイナス寄与となりました
- ・ 油田サービス・サブセクターの組入低位がマイナス寄与となりました
- ・ ウラン産出企業のカメコ非保有がマイナス寄与となりました

<BGF ワールド・マイニング・ファンド>

当作成期、引き続きポートフォリオのクオリティ・バイアスを維持し、より強固なバランス・シートと低コスト体質を有する企業に重点を置いていきます。ポートフォリオの主要な投資テーマは、フリー・キャッシュフローの創出と生産の拡大であり、また、エネルギートランジションを背景に高まる需要から恩恵を受けるサステナブルな

金属に注目しています。

(主なプラス要因)

- ・ベンチマーク外のカメコの保有がプラスに寄与しました
- ・アングロゴールド・アシャンティの組入低位がプラスに寄与しました

(主なマイナス要因)

- ・アルベマールやシグマ・リチウムの保有がマイナス寄与となりました
- ・ファースト・クオンタム・ミネラルズの組入高位がマイナス寄与となりました
- ・ボスコの非保有がマイナス寄与となりました

<BGF ワールド・ゴールド・ファンド>

当作成期、引き続きクオリティ・バイアスを維持し、平均よりも優れたバランス・シートを有し、平均よりも低いコスト、質の高い経営陣、およびより優れたESG特性を有する企業を重視しました。

(主なプラス要因)

- ・アングロゴールド・アシャンティの組入低位がプラス寄与しました
- ・ベンチマーク外のロイヤリティ企業ウィートン・プレシヤス・メタルズの保有がプラス寄与しました
- ・非ベンチマーク銘柄である中堅開発企業ベルビューの保有がプラスに寄与しました

(主なマイナス要因)

- ・非ベンチマーク銘柄であるオシスコ・ゴールド・ロイヤリティズの保有がマイナス寄与しました
- ・バリック・ゴールドの組入低位がマイナス寄与しました

ベンチマークとの差異について

当ファンドは、特定のベンチマークに連動する運用、あるいはそれを上回る運用を目指すものではありません。したがって当ファンドはベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金について

収益分配は基準価額水準、市場動向等を勘案して見送りとさせていただきます。留保益の運用につきましては、運用の基本方針に基づき運用を行います。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項目	第63期	第64期
	2023年5月23日～2023年8月21日	2023年8月22日～2023年11月20日
当期分配金(税込み)	-円	-円
対基準価額比率	-%	-%
当期の収益	-円	-円
当期の収益以外	-	-
翌期繰越分配対象額	5,619	5,960

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針について

当ファンドは、引き続き投資対象ファンドである「BGF ワールド・エネルギー・ファンド」と「BGF ワールド・マイニング・ファンド」をそれぞれ40%程度、「BGF ワールド・ゴールド・ファンド」を20%程度組入れることで、信託財産の中長期的な成長を目標に運用を行う方針です。

<BGF ワールド・エネルギー・ファンド>

石油の供給は、ここ数年間、新たな石油生産への投資が低迷していたことから、引き続き逼迫していますが、エネルギー企業のバランス・シートは過去の価格下落時よりも強固なものとなっており、高い耐性を示しています。エネルギー・セクターの資本性への投資家の圧力によって、多くのエネルギー企業は生産の最大化にフリー・キャッシュフローを振り向けるよりも、株主還元へ振り向けています。石油のファンダメンタルズは引き続き良好であり、生産設備への投資が引き続き厳格に管理されていることから、今後1-3年間は石油価格を下支えすると考えています。ロシアのウクライナ侵攻と足元のイスラエルとハマス間の紛争を受け、欧州は、エネルギー供給元の分散を図っていることから、米国および中東産LNGの需要が高まっています。OPECが発表した生産目標削減の決定(2022年10月と2023年4、6及び8月に発表)は、より積極的に原油価格を管理しようという意思表示であると見ています。需要面では、米欧経済の減速や予想を下回る中国の経済成長に伴って、短期的な石油需要にはやや不透明感がありますが、今後は世界経済の成長拡大により、需要は引き続き拡大するも

のと予想されます。当ポートフォリオ構築における今年の主要テーマとして、優良な国際的石油生産企業及び米国のシェール関連企業の選別的な保有が挙げられます。

<BGF ワールド・マイニング・ファンド>

中国の経済活動は再開したものの、年初に予想したほどの影響は見られていません。中国のコモディティ需要は引き続き不透明であるものの、中国政府による財政出動の発表に対する期待は徐々に高まっています。長期的には、低炭素社会への移行から生まれる、幅広い汎用コモディティに対する需要の構造的な拡大に強い期待を持っています。一方で、コモディティの供給は、近年、投資に対して厳格な規律が適用されていることによって制約を受けていると思われ、多くの汎用コモディティの在庫は歴史的低水準にあります。採掘企業の負債水準は低く、引き続き株主へ資金還元を行っています。設備投資拡大の段階に入ってきていると思われ、2023年は、ブラウンからグリーン企業への転換が主要な投資テーマとなりました。採掘企業は、自らの生産に関わる温室効果ガス排出強度の削減に注力しています。削減を達成できた採掘企業が評価されると考えており、ポートフォリオではこのような点にも重点を置き運用を行っています。

<BGF ワールド・ゴールド・ファンド>

金は、実質金利の上昇や現物保有の金ETFからの資金流出などを鑑みると、予想以上に底堅く推移しており、中央銀行からの需要がその要因であると考えています。この需要は、実質金利が低下し始める、あるいは

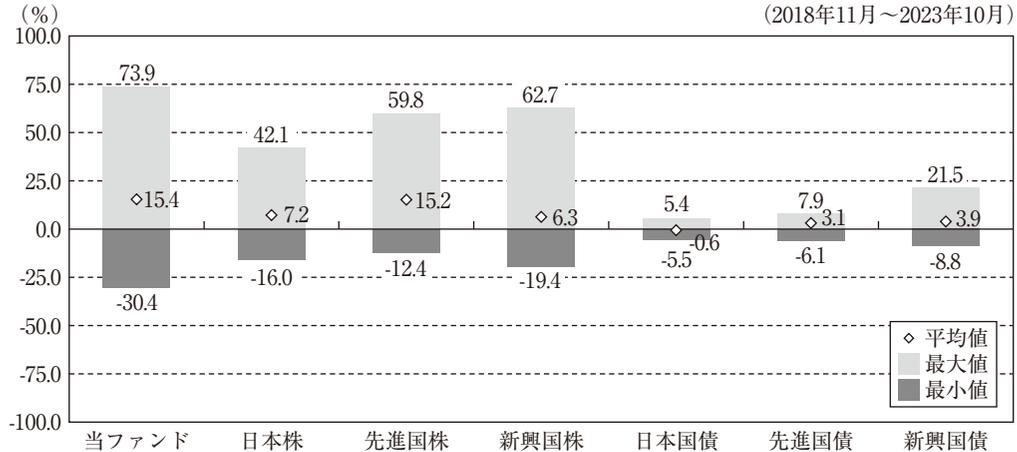
現物保有の金ETFへ資金が回帰し始めた際に、金価格上昇の下支えになると考えています。不透明な世界経済の成長、地政学リスクの上昇、及び米国の債務問題なども、分散投資の対象として金を検討する良いきっかけとなっています。一方で、金関連株に対する市場センチメントは現在、非常に悪化しているものの、今後12ヵ月間の見通しでは、改善する可能性が高いと考えています。金関連株は、様々なバリュエーション指標からみても長期平均より非常に低い水準で取引されています。金産出企業は大きなコスト・インフレに見舞われましたが、現在は最悪の状況から脱していると考えています。当ファンドでは、平均よりも優れたバランス・シートを有し、平均よりも低いコスト、質の高い経営陣、および優れたESGの実績を有する企業に重点を置き、引き続きクオリティ選好を強めたポートフォリオ構築を行う方針です。

◇当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限（設定日：2007年12月21日）
決算日	2月20日、5月20日、8月20日、11月20日（ただし休業日の場合は翌営業日）
運用方針	<p>①主として「ブラックロック・グローバル・ファンズ ワールド・エネルギー・ファンド クラスX投資証券（ルクセンブルグ籍会社型外国投資証券）」、「ブラックロック・グローバル・ファンズ ワールド・マイニング・ファンド クラスX投資証券（ルクセンブルグ籍会社型外国投資証券）」および「ブラックロック・グローバル・ファンズ ワールド・ゴールド・ファンド クラスX投資証券（ルクセンブルグ籍会社型外国投資証券）」（以下各々を「BGF ワールド・エネルギー・ファンド」、「BGF ワールド・マイニング・ファンド」および「BGF ワールド・ゴールド・ファンド」といいます。）への投資を通じて、信託財産の中長期的な成長を目標に運用を行います。</p> <p>②外貨建資産については、原則為替ヘッジを行いません。</p>
主要運用対象	主として「BGF ワールド・エネルギー・ファンド」、「BGF ワールド・マイニング・ファンド」および「BGF ワールド・ゴールド・ファンド」を主要投資対象とします。
運用方法	<p>①「BGF ワールド・エネルギー・ファンド」、「BGF ワールド・マイニング・ファンド」および「BGF ワールド・ゴールド・ファンド」への投資を通じて、世界が注目する資源株（エネルギー関連株、鉱山株および金鉱株）に投資し、信託財産の中長期的な成長を目標に運用を行います。</p> <p>②外貨建資産については原則として為替ヘッジは行いません。</p>
分配方針	<p>年4回の毎決算時（原則として2月、5月、8月、11月の20日。休業日の場合は翌営業日。）に、原則として以下の方針に基づき、分配を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益および売買損益（繰越欠損補填後、評価損益を含みます。）等の全額を分配対象額の範囲として分配を行います。 ■ 分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ■ 留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。 <p>※基準価額水準、市況動向等によっては分配を行わないことがあります。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p>

(参考情報)

◇代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

*上記は、2018年11月～2023年10月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

*上記の騰落率は直近月末から60カ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

*当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数(TOPIX)(配当込み)

先進国株……MSCIコクサイ指数(配当込み、円ベース)

新興国株……MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)

日本国債……NOMURA-BPI国債

先進国債……FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

新興国債……J.P.モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)

<各指数について>

東証株価指数(TOPIX)(配当込み)は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有する我が国を代表する指数です。東証株価指数(TOPIX)(配当込み)の指数値および東証株価指数(TOPIX)(配当込み)に係る標準又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など東証株価指数(TOPIX)(配当込み)に関するすべての権利・ノウハウおよび東証株価指数(TOPIX)(配当込み)に係る標準又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、東証株価指数(TOPIX)(配当込み)の指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。

MSCIコクサイ指数(配当込み、円ベース)およびMSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)は、MSCI Inc.が開発、計算した株価指数です。MSCIコクサイ指数(配当込み、円ベース)は日本を除く世界の主要先進国の株式を、また、MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)は新興国の株式を対象として算出した指数です。同指数に関する著作権、知的財産その他の一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。

NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表している指数で、日本国債の市場全体の動向を表す投資収益指数です。同指数に関する知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、NOMURA-BPI国債の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、NOMURA-BPI国債を用いて行われるブラックロック・ジャパン株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

J.P.モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)は、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが発表しており、新興国の現地通貨建ての国債を対象として算出した指数です。同指数に関する著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しています。

◇ファンドデータ

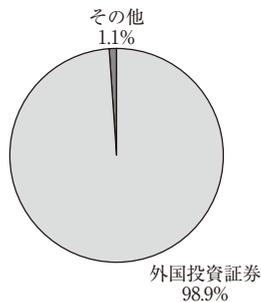
■当ファンドの組入資産の内容

○組入ファンド等

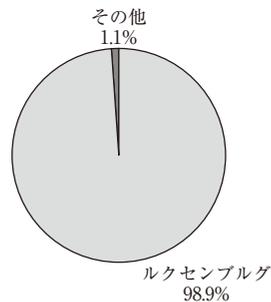
	比率
BGF ワールド・マイニング・ファンド	39.7%
BGF ワールド・エネルギー・ファンド	39.2
BGF ワールド・ゴールド・ファンド	20.1
その他	1.1

(注) 比率は第64期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

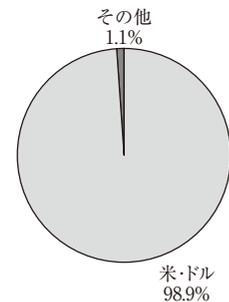
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は第64期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

■純資産等

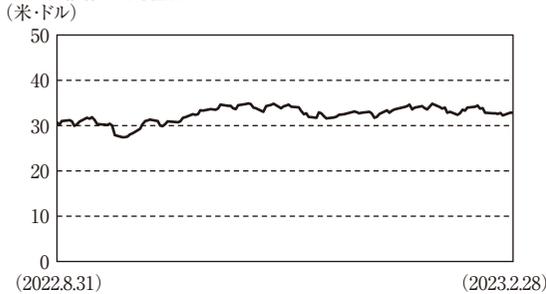
項目	第 63 期末	第 64 期末
	2023 年 8 月 21 日	2023 年 11 月 20 日
純資産総額	7,995,846,923 円	7,126,888,091 円
受益権総口数	7,630,589,758 口	6,570,545,211 口
1 万口当り基準価額	10,479 円	10,847 円

* 当作成期間(第63期～第64期)中における追加設定元本額は779,899,414円、同解約元本額は3,755,445,214円です。

■組入上位ファンドの概要

◆BGF ワールド・エネルギー・ファンド

○基準価額の推移



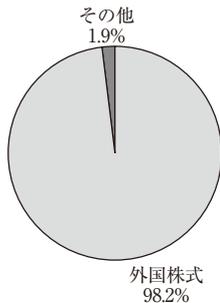
○上位 10 銘柄

銘柄名	通貨	比率
SHELL PLC	英国・ポンド	10.1%
EXXON MOBIL CORP	米・ドル	9.5
CONOCOPHILLIPS	米・ドル	7.8
TOTALENERGIES SE	ユーロ	6.1
BP PLC	英国・ポンド	5.8
CANADIAN NATURAL RESOURCES LTD	カナダ・ドル	4.8
CHEVRON CORP	米・ドル	4.6
MARATHON PETROLEUM CORP	米・ドル	4.5
EOG RESOURCES INC	米・ドル	4.3
WILLIAMS COMPANIES INC	米・ドル	4.0
組入銘柄数		31銘柄

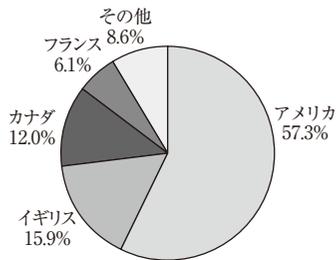
○1万口当りの費用明細

当該情報の取得が不可能であるため記載しておりません。

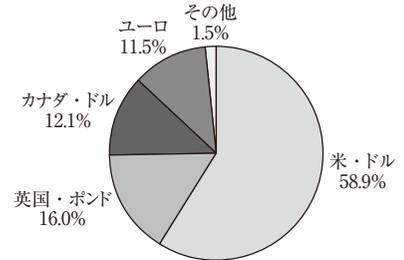
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 基準価額の推移は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

(注2) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

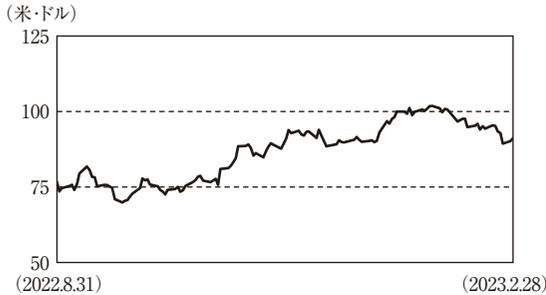
(注3) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

* 当社適時開示資料作成にあたり使用しておりますブラックロック・グループのデータに基づき記載しております。上記ファンドの管理会社で作成しているデータに基づく運用報告書(全体版)の参考情報と相違する場合があります。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)をご覧ください。

◆BGF ワールド・マイニング・ファンド

○基準価額の推移



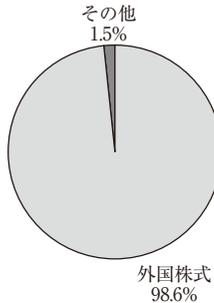
○上位 10 銘柄

銘柄名	通貨	比率
BHP GROUP LTD	オーストラリアドル	8.8%
GLENCORE PLC	英国・ポンド	7.6
VALE SA	米ドル/ ブラジル・レアル	7.6
TECK RESOURCES LTD	カナダ・ドル	5.2
FREEMPORT-MCMORAN INC	米・ドル	4.9
RIO TINTO PLC	英国・ポンド	4.1
WHEATON PRECIOUS METALS CORP	カナダ・ドル	3.5
ANGLO AMERICAN PLC	英国・ポンド	3.3
ARCELORMITTAL SA	ユーロ	3.3
FRANCO-NEVADA CORP	カナダ・ドル	3.2
組入銘柄数		54銘柄

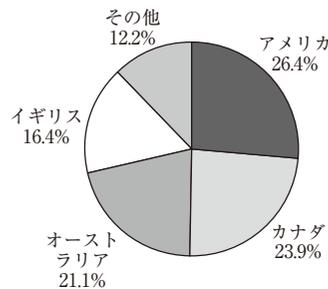
○1万口当りの費用明細

当該情報の取得が不可能であるため記載しておりません。

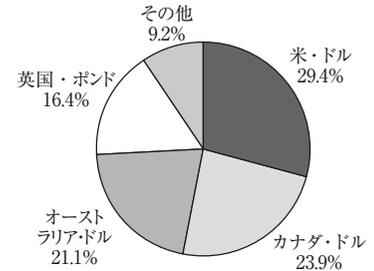
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 基準価額の推移は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

(注2) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

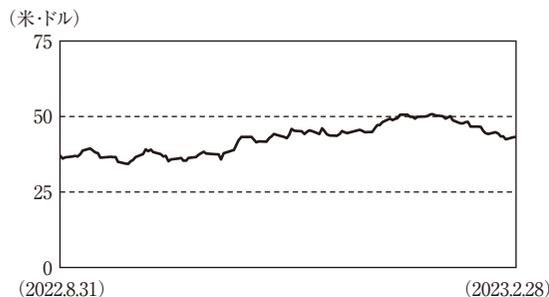
(注3) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

* 当社適時開示資料作成にあたり使用しておりますブラックロック・グループのデータに基づき記載しております。上記ファンドの管理会社が作成しているデータに基づく運用報告書(全体版)の参考情報と相違する場合があります。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

◆BGF ワールド・ゴールド・ファンド

○基準価額の推移



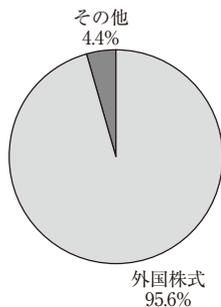
○上位 10 銘柄

銘柄名	通貨	比率
ENDEAVOUR MINING PLC	カナダ・ドル	7.0%
BARRICK GOLD CORP	米・ドル	6.9
FRANCO-NEVADA CORP	カナダ・ドル	6.2
WHEATON PRECIOUS METALS CORP	カナダ・ドル	6.1
NEWCREST MINING LTD	オーストラリア・ドル	5.7
NORTHERN STAR RESOURCES LTD	オーストラリア・ドル	4.7
B2GOLD CORP	カナダ・ドル	4.7
NEWMONT CORPORATION	米・ドル	4.5
ALAMOS GOLD INC	カナダ・ドル	4.3
AGNICO EAGLE MINES LTD	カナダ・ドル	4.1
組入銘柄数		47銘柄

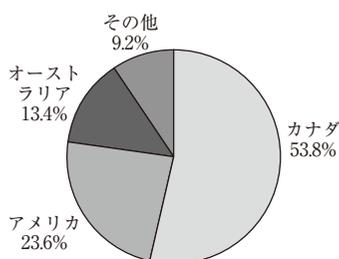
○1万口当りの費用明細

当該情報の取得が不可能であるため記載しておりません。

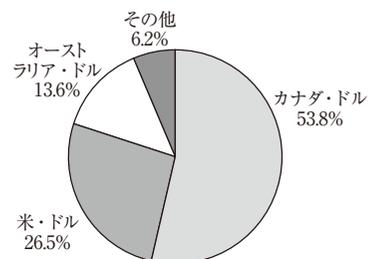
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 基準価額の推移は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

(注2) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注3) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

* 当社適時開示資料作成にあたり使用しておりますブラックロック・グループのデータに基づき記載しております。上記ファンドの管理会社で作成しているデータに基づく運用報告書(全体版)の参考情報と相違する場合があります。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)をご覧ください。